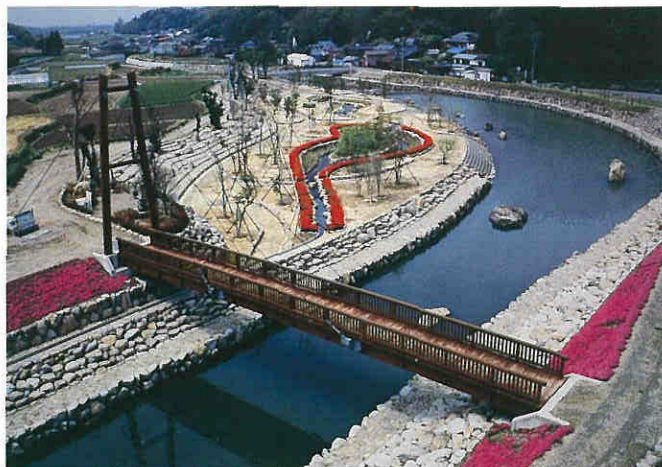




護岸は水性生物の生息に配慮して自然石を使用し、川の中には巨石も配置されている



ホタルの生態を紹介する案内板



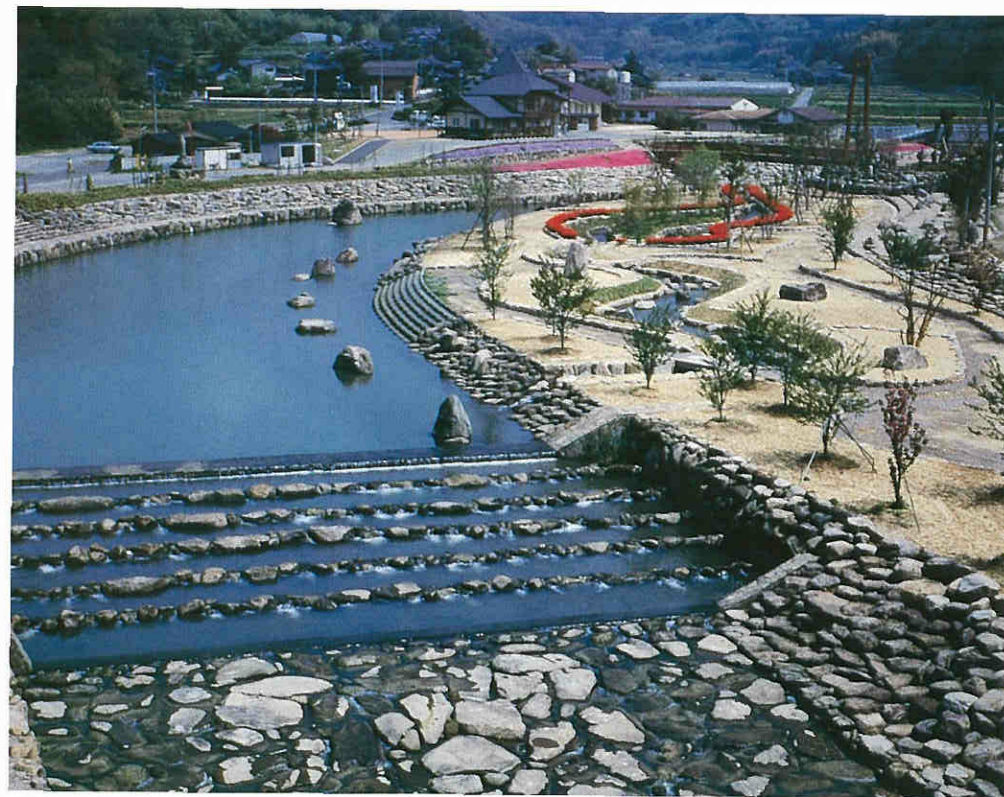
真玉川で行われる湯前公園カヌー教室

DATA・BOARD 37

- ①大分県西国東郡真玉町大字城前
- ②面積：6,800㎡、延長：350m
- ③ＪＲ日豊本線宇佐駅から車で20分
- ④湯前公園、真玉クラインガルデン、応暦寺、椿堂
- ⑤またま温泉まつり



37 ゆのさき 湯前公園



真玉町では、町内を流れる真玉川の城前地区流域に河川整備と合わせた「湯前公園」の整備を行った。この地域には、町営の温泉保養施設があることから、この施設と一体化した活用を図られることを目的に計画が進められた。

整備にあたっては、従来はブロック積みみの無機質な河川であった真玉川の改修を行い、自然石を使用した親水護岸を設けたほか、堤防上に芝桜やツツジなど四季の草花を植栽し、潤いのある景観づくりを行った。また、景観に変化を持たせるために、川の中に巨石を配置したり、ホタルなどの水生生物の生息にも配慮した自然型の護岸として施工するなどの工夫を行った。水辺では、アイガモやアヒル、鯉の飼育も行われ、訪れた人の目を楽しませている。

真玉川が蛇行する部分に設けられた公園内には、水路が設けられホタルの餌となるカワニナが生息しており、子供たちの自然観察に役立つように、ホタルの成長過程を紹介した案内板も設置されている。

整備後は、カヌー教室の会場に利用されたり、都市と農村の交流を図るために開催される、またま温泉まつりの会場にも使用されている。また、隣接する真玉町総合活性化センターや温泉保養施設を訪れた人や地域住民の散策、憩いの場としても親しまれている。